



夏休みも後半! 怪我には十分ご注意を!!

厚生労働省が学童保育での怪我実態調査(3月上旬~7月上旬)
全治1ヶ月以上の怪我、全国で23人(埼玉新聞 7月22日)

厚生労働省が初めて行なった調査では、骨折、捻挫など、屋外の怪我だけでなく室内でも多くの怪我があり、1年生が最も多く、学年が上がるほど少ないという実体が公表されました。ほとんどは指導員と一緒にいる時に起こっており、単なる監視による事故防止の難しさが浮き彫りになっています。

夏休みに入り、行事や戸外保育を行なっているクラブも多いと思います。この調査結果は行事だけではなく日常生活も含めた数字ですが、日々の保育の中で子どもたちと頻りにコミュニケーションを取り、事故防止に取り組むことの重要性を感じます。父母の皆さんもぜひ、お子さんとよく話し合いながら、児童クラブでの安全について留意していただければと思います。

下浦先生の講演全文を配布しました!!!

5月9日に実施された連絡会総会で行なわれた、下浦忠治先生の講演全文を、全クラブに配布しました。「保育課や社協の方にもぜひ聞いて欲しいお話でした」との感想も!どんな学童保育が子ども達のために必要なのかを考えさせられる内容でした。

ぜひ、多くの父母の皆様にご覧いただき、一緒に考えてみてください。

第1回代表者会議を行ないました!

7月10日(土)10:00~ 市民文化会館

11クラブ、16名(事務局除く)の参加がありました。

放課後児童クラブの現状

今年度初めての代表者会議ということで、春日部市の現状や放課後児童クラブを取り巻く環境などについて、事務局より説明しました。

社協主宰会議(6月27日)の総括

初めて参加された方が多く、様々な意見や疑問点が出された事を、参加者の方からお聞きしました。

「テレビ(アナログ)」や「DVDプレーヤー」の配置など、今までは聞いてもらえなかった願いが実現するかも...? 長年に渡って要望してきた経験者にとっては隔世の感がありました。

運営者(社協)の裁量次第で変わる項目もあるため、父母が強く要望していくことが大切なことを改めて感じました。

クラブ間の意見交換

役員の決め方や、役員の途中退室など、父母会運営の悩みが、特に初めて参加した方からたくさん出されました。経験者の方からは、「うちではこうやってます」など、経験に基づいた提案が出されるなど、参考になったのではないのでしょうか。

議事録を各クラブに配布したのでぜひ参考にしてください。